

研修会報告

「Raging Wire 社データセンター見学会」

12月5日(木)

研修担当理事: 入戸野 匡彦

12月5日(木)、バージニア州アッシュバーンの Raging Wire 社を訪問し、データセンターの見学会を開催しました。本見学会は商工会会員のみを対象とし、18名の方にご参加いただきました。

全世界のデータセンター市場の 40%以上を占める米国では、活発な ICT 産業や企業のクラウド利用など、ICT 環境のアウトソース拡大が続いています。

Raging Wire 社は、東海岸のバージニア州アッシュバーンに 2 拠点、中西部のテキサス州ダラスに 1 拠点、西海岸のカリフォルニア州サクラメントに 3 拠点のデータセンターを展開しています。特にバージニア州北部は、高信頼かつ低価格な電力供給、豊富なネットワーク接続事業者、ハイウェイや空港などの充実した社会基盤、税制面での優遇など、データセンターを建設する環境が揃っており、米国でもトップクラスのデータセンターが集結しているエリアです。

見学会では、同社データセンターのサーバールーム、空調設備、電源設備、非常用電源設備、従業員休憩スペース等を見学しました。同社が独自に定める 300 項目以上のグローバル統一された設備基準/運用基準に準拠して運用されている世界最先端のデータセンターであり、自然災害、テロ、停電等でも決して止まることなく、事業運営を維持する“ミッションクリティカル”なデータセンター運営を理解することが出来ました。

その後開催された質疑応答では、非常用電源のスペック(供給時間、給油方法、冗長性等)に関する質問や、データセンターの運営方法(サーバ提供、ラック提供、スペース提供)、人材雇用/育成等に関する活発な意見交換がなされ、通常は立ち入ることが出来ないデータセンターの本質に触れて、データセンター事業に関する理解を深める機会となりました。

今回の研修に際しましては、普段は立ち入ることのできないデータセンター見学の機会をご提供頂いた、Raging Wire 社様に、この場を借りて御礼申し上げます。

12月5日 研修会にて